

所属 ビジネス学部		職名 教授	氏名 浅井 敬一郎	学位 博士（学術）	兼任している研究科 ビジネス研究科
研究分野 経営学関連			研究分野のキーワード 技術経営論、企業論		
学歴					
1990年03月	名古屋大学 経済学部 経営学科 卒業				
1990年04月	名古屋大学 大学院経済学研究科 博士前期課程 経営学専攻 入学				
1992年03月	名古屋大学 大学院経済学研究科 博士前期課程 経営学専攻 修了				
1992年04月	名古屋大学 大学院経済学研究科 博士後期課程 経営学専攻 入学				
1995年03月	名古屋大学 大学院経済学研究科 博士後期課程 経営学専攻 単位取得満期退学				
2005年10月	広島大学 国際協力研究科 博士後期課程 開発科学専攻 入学				
2009年02月	広島大学 国際協力研究科 博士後期課程 開発科学専攻 修了				
職歴					
1995年04月	名古屋大学 経済学部 助手				
1997年04月	豊橋創造大学短期大学部 専任講師				
2000年10月	愛知淑徳大学 コミュニケーション学部 助教授				
2004年04月	愛知淑徳大学 ビジネス学部 助教授（准教授）				
2011年04月	愛知淑徳大学 ビジネス学部・大学院ビジネス研究科 教授				
2021年04月	愛知淑徳大学 大学院ビジネス研究科 研究科長（2025年3月まで）				
2025年04月	愛知淑徳大学 ビジネス学部 学部長（2026年3月まで）				
研究活動					
著書(CD・DVD等を含む)・論文等の名称	単著・共著の別	発行または発表年月	発行所、発表雑誌(及び巻・号数)等の名称	編者・著者名(共著の場合のみ記入)	該当箇所・該当頁数
著書(CD・DVD等を含む)					
学術論文					
不正理論における合理化の検討	共著	2024年03月	中京大学経営学会 中京経営研究 33 2	谷口勇仁・浅井敬一郎	共同研究につき本人担当部分抽出不可能
学会発表					
組織不祥事における合理化の検討	共同発表	2025年09月	日本経営学会第99回全国大会(西南学院大学)		
作品・制作等					
その他業績					
学会等における主な活動					
受賞					
1998年06月	型技術協会 論文賞				
2008年06月	日本経営学会賞（論文部門）				
所属学会					
1992年07月～現在	組織学会				
1992年09月～現在	日本経営学会		2014年09月～2018年09月 日本経営学会機関誌編集委員		
1992年10月～現在	日本中小企業学会		2019年10月～現在 中部部会幹事		

2009年04月 ～ 現在	国際ビジネス研究学会	
2010年07月 ～ 現在	日本労務学会	
社会活動		
2016年04月01日 ～ 現在	【学生が選ぶ愛知の企業30選・50選・70選・100選】 株式会社新東通信とNPO法人Gnetと浅井ゼミとのタイアップ企画 取材先企業の経営者だけでなく、管理者、そして従業員へのヒアリングを通じて「働く魅力」から「経営戦略」や「理念」がどのようにつながっているかをゼミ生が取材を行い冊子化。 11月に対象企業様を集め最終報告会を行い、冊子を作成していただきキャリアセンターに毎年100冊置いていただき、中堅企業の魅力を発信している。	
2025年04月01日 ～ 2029年03月31日	組織不正の業界固有の発生要因 - 業界固有の合理化の探索 - 日本学術振興会 科学研究費助成事業 基盤研究(C) 研究分担	
教育活動		
教育実践上の主な業績		年 月 日
1 教育内容・方法の工夫(授業評価等を含む)		
(1) ひとり一発言	2001年04月 ～ 現在	自己紹介も満足にできない状態の2年生から1回のゼミ中に必ず1度は質問させ、報告者には回答を見いださせ、それを2回以上続けることを目的とする。これを2年間続けると4年次での就職等の面談においても物怖じすることのないなどの成果が得られた。
中小企業経営者への取材	2013年07月10日 ～ 現在	中小企業の魅力とは何なのかを知るための取材プロジェクト。 インターンシップ等を提供する、NPO法人G-netと協同し、ゼミ生が3名のチームになり、チームのヒアリング視点を明確にし、中小企業経営者への取材を通じて中小企業の魅力は何かを各々が認識する。「何を経験」し、「何を学び」、「今後にどう活かすのか」について発表し、議論する。 これにより、就職活動の中で中小・中堅企業を早い段階で選択肢に入れるようになり、実際に就職するケースも出てきている。 2013年度～2015年度：岐阜県の企業を、2016年度以降は、愛知県の企業を取材対象としている。 なお、2016年度より、G-netおよび新東通信株式会社との連携となっている。
日経新聞をPREP法でまとめ、理解する	2014年04月01日 ～ 現在	日経新聞をPREP（要点、理由・背景、事例、結論）でまとめ、サブゼミで発表する。 まず、日経新聞の方から企業の新人研修と同内容の「読み方教室」を春休みに3回行い （読み方、PREP法でのまとめ方、発表の仕方） 4月からサブゼミで毎週発表する。同時に週2本の割合でPREP法で記事をまとめ提出することで 経済記事に関して理解を深める。
「中小企業を学ぶ」の企画運営	2015年04月01日 ～ 現在	愛知中小企業家同友会とのタイアップにより、同会に所属する経営者4名をお招きをし、 （1）中小企業の強み、魅力の認識・理解 （2）「働く意味」についての視野を広げること （3）国や地方自治体の中小企業政策の変遷の理解 とくに「中小企業憲章」の閣議決定が現在の政策に及ぼした影響について深く理解する を目的に授業を展開する。その企画、運営を行う。 併せて、学生には答えの無い問題をチームで考えることのトレーニングの場とする。 ・具体的には受講生70名を10程度のチームに分け ・講義 質疑応答 経営者からのディスカッションポイントの提示 チーム内での議論、発表 レポート提出
企業連携によるアクティブラーニング授業	2025年10月01日 ～ 2026年09月30日	イノベーションプログラムB（ものづくり）・チャレンジプログラムB（ものづくり）において、株式会社鶴田工業所様と連携し、イノベーションプログラムでは、同社の自社製品についての改善提案を、防犯グッズ、レジャー用品、その他に分けて行った。 チャレンジプログラムBでは、厚さ1mmの金属板を使用し、両手に収まるサイズで、顧客にとっての価値は何か（誰の課題をどう解決するか）、競合分析、想定売価、販路を明確にした新商品提案を行い、同社に試作、メッセ名古屋への出品を目指す。

2 作成した教科書、教材、参考書		
3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		
4 その他教育活動上特記すべき事項		
5 大学運営		
会計教育部門運営委員	2008年04月 ~ 2024年03月	
障がい学生支援委員	2015年04月 ~ 2026年03月	
星が丘キャンパスモデル運営委員会委員長	2016年04月 ~ 2024年03月	
会計教育部門長	2020年04月 ~ 2022年03月	
大学院ビジネス研究科 研究科長	2021年04月 ~ 2025年03月	
ビジネス学部 学部長	2025年04月 ~ 2026年03月	
Ⅴ 資格・免許、特許等		
資格・免許		
特許等		